

ドロボコ [プレイ人数3～5人 9歳以上 所要時間30～60分]

(蜂の巣状の集合住宅が舞台です。盗まれた品物をヒントに泥棒がどこに潜んでいるかを当てる推理ゲームです)

セット内容：

盗品カード(青)20枚+(赤)4枚、部屋カード(黄)21枚、コマ5個、消し布1枚
ポイント紙幣(1ドロ20枚・5ドロ10枚・10ドロ20枚)、足取りシート1枚、ドロボウペン1本

ゲームの準備：

好みの色のコマを選び、**ドロ役を1人決め、他のプレイヤーはサツ役**になります。部屋カードをよく切ってから下左の配置図のように並べたらゲーム開始です。ドロ役は時計回りに一巡します。

ゲームの手順：

ドロ役のプレイヤーは「足取りシート」と「盗品カード」を持ち、どの部屋に入り何を盗むか決めます。盗める物は**1部屋につき1品**です。盗む1品を決めたら、その品物の盗品カードを1の場所にオモテにして置いていきます。(不正がないか確認するためにドロ役は「足取りシート」に通った部屋を一筆書きのように書き記します)全部で6部屋、6品盗みますが、**同じ部屋に2度入ったり(通過したり)同じ品物を2度盗むことはできません**。1～6の場所に順々に盗品カードをオモテにして置いていきますが、**6以外の場所に1枚だけカードを伏せて置くことが可能です**。*ただし伏せたカードの品物は盗んだことにはなりません。その間、**サツ役**のプレイヤーは声を出して推理をするなどして、ドロ役を精神的に追い込みましょう！

ドロ役が**6部屋目に侵入した部屋がドロボーが隠れている部屋**となります。6部屋移動し終わったら、サツ役のプレイヤーが**ドロボーが隠れていると思われる部屋に自分のコマを置きます**。同じ部屋には**2名まで**コマを置くことができます。このゲームはチーム戦ではありません。サツ役はあくまでも自分の手柄を目指して推理しましょう。サツ役全員がコマを置き終わったら「足取りシート」を公開してドロボーが隠れている部屋を明かします。**1ターンごとに下記の得点計算(分配)**をし、得点分のポイント紙幣を受け取ります。ドロ役が一巡したところでゲーム終了となります。

配置参考図

←6枚を左から盗った順に置いていきます
※6以外の場所は1枚だけカードを伏せて置くことが可能です

←どこを通ったか、足取りを書き残します
※同じ部屋は2度通れません

◀スタート位置

特殊な盗品カードについて

「金庫」「プレゼント」「カバン」は何が入っているかわかりません

これらの品物を盗んだ場合、裏にした赤カード4枚から1品につき1枚ずつ引き、そのカードの★数を得点とします。

得点計算と分配の仕方：

- 【ドロ役】・捕まらなかった場合 → 盗んだ盗品カードの上部にある★数が得点
 - ・1人に捕まった場合 → 盗んだ盗品カードの上部にある★数の半分が得点(奇数の場合は切り捨て)
 - ・2人に捕まった場合 → 0点
- 【サツ役】・捕まえたケイサツが1人だけだった場合 → 盗品カードの★数の半分が得点(奇数の場合は切り捨て) さらに裏にした赤いカードから1枚引き、その★数も加点します。
 - ・捕まえたケイサツが2人だった場合 → それぞれに盗品カードの★数の半分が得点(奇数の場合は切り捨て)

※特別なカードについて：上右図に記しましたが、「金庫」「プレゼント」「カバン」は何が入っているかわかりません。この3品を盗んだ場合、裏にした赤いカード4枚から1品につき1枚引き、そのカードの★数を得点とします。

ゲームの勝敗：

獲得したポイント紙幣の合計で勝敗を決めます。
同点の場合、裏にした赤いカードを引き、商品が高額だったプレイヤーの勝利とします。